

## 2018年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日時：2018年9月18日(火)18:00～19:20

場所：聖路加国際病院 2号館2階 メディアルーム

議長：鶴若 麻理(副委員長)

出席委員：鶴若 麻理、小林 京子、縄 秀志、高橋 奈津子、大久保 暢子、川上 千春、小山田 恭子、三森 寧子、中山 昌明、中村 めぐみ、墨岡 亮、鐘ヶ江 眞知恵、神里 彩子

欠席委員：片岡 弥恵子、小野 若菜子、松井 陽、青木 美紀子  
(出席者 13人をもって、委員会の成立)

### 1. 審議事項:新規申請(本審査)

#### ① 武田 希帆子 (看護技術学・ニューロサイエンス看護学 修士)

「看護師との関わりからみえる急性期失語症者の経験」

研究責任者(武田氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

#### ② 大久保 暢子 (看護技術学・ニューロサイエンス看護学 准教授)

「サクラセルエキストラクト、ユズ精油を用いた芳香浴によるストレス緩和効果の検討」

研究責任者(大久保准教授)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

### 2. 審議事項:継続審査について

#### ① 審査番号 17-A068:渡辺 采那 (助産学 修士)

「妊娠期における統合医療活用状況の調査」

事務局より、実施状況について説明が行われた。

委員から異議はあがらず、審議参加者全員一致により承認、となった。

### 3. 報告事項:新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
18-A039	Truth-telling を受けた子どもの説明に対する思い	小児看護学	教授	小林 京子
18-A027	就労女性のプレコンセプションヘルスに関する実態と関連要因	国際看護学	教授	大田 えりか
18-A030	対話リフレクションを用いて行う新人看護師への教育的支援 — 一意思疎通の困難な患者の安楽を高めるケア実践に向けて —	看護教育学	修士	林 保江
18-A031	NICU 看護職者による母子関係に対する支援のプロセス	小児看護学	修士	稲勝 玲

18-A032	精神保健専門職から見た 地域で生活する精神障害者と地域住民の交流がもたらした変化	公衆衛生 看護学	修士	遠藤 海和
18-A034	看護師等養成所の実習受け入れ施設における実習指導の実態調査	看護教育学	教授	小山田 恭子
18-R036	香川県における2型糖尿病有病者の食生活	公衆衛生 看護学	修士	亀山 未来
18-R038	外来通院中の精神障がい者を抱えた家族のリハビリとその構造	精神看護学	修士	青本 さとみ
18-A040	退院にむけた意思決定に対する患者の積極性と看護実践との関係について	在宅看護学	修士	西村 恵理奈
18-A041	分娩を取り扱う助産所の開業における障壁 ―若手助産師のインタビューから―	助産学	修士	鈴木 みどり
18-A046	発達障害を抱える人々が働き続けるための支援のあり方	公衆衛生 看護学	修士	安田 由美

#### 4. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究の審査について、下記の通り報告された。

審議 事項	整理 番号	研究課題名	所属	職種	研究 責任者
変更 申請	16-A088	看護実践における革新的看護技術の普及要素に関する検討	看護技術学	准教授	大久保 暢子
変更 申請	17-A071	統合失調症患者の術後ケアを行った精神科病棟の看護師が体験した困難と患者の特徴	精神看護学	博士	石井 歩
変更 申請	17-A079	看護学の質的研究査読者教育プログラムの開発と評価	精神看護学	教授	萱間 真美
変更 申請	18-A013	女子学生に対する子宮頸がん・検診教育プログラムの作成と評価	ウイメンズ ヘルス	修士	鈴木 絵里
変更 申請	18-A034	看護師等養成所の実習受け入れ施設における実習指導の実態調査	看護教育学	教授	小山田 恭子
終了 報告	15-A067	日本独自の香りを用いた芳香浴による成人女性のストレス緩和の効果―ユズ、サクラを用いた実験研究―	看護技術学	准教授	大久保 暢子
終了 報告	15-A068	サクラセルエキストラクトを用いた芳香浴によるストレス緩和効果の検討	看護技術学	准教授	大久保 暢子
終了 報告	16-A073	がん生殖医療におけるオンコロジーナースの実践のための教材開発:事例集の作成	ウイメンズ ヘルス	教授	森 明子
終了 報告	16-A090	糖尿病患者のフットケアにおけるセルフマネジメントを継続的に支援する外来及び訪問看護師の困難と学習ニーズ	成人看護学	博士	曾根 晶子
終了 報告	16-A092	流暢性向上訓練を組み入れた多読の授業における読みの流暢性の発達	基盤領域	助教	Huffman Jeffrey John
終了 報告	17-A026	重篤な状態あるいは死亡となった児童虐待事例を担当した市区町村保健師の体験	公衆衛生看護学	博士	江川 優子
終了 報告	17-A028	循環器内科病棟に勤務する看護師による末期心不全患者に対する緩和ケアへの影響要因の検討	慢性期 看護学	修士	福間 佳代
終了 報告	17-A033	Burns による人工呼吸器離脱アセスメントプログラム (BWAP:Burns Wwan Assessment Program)を学習する e-learnig 教材の作成と学習効果の検討	急性期 看護学	修士	木村 理加

終了報告	17-A052	がん生殖医療におけるオンコロジーナースの実践のための教材開発:事例集の評価	ウイメンズヘルス	教授	森 明子
終了報告	17-A070	生殖年齢における女性の性の QOL の関連要因	助産学	修士	野田 ひろ子

## 5. その他審議・連絡

- ① 副委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。
- ② 副委員長より、本学 学生の教育コースが新たに開設され、新規申請が増加したことに伴う委員の追加について報告された。
- ③ 副委員長より、8月の研究倫理審査委員会議事録の内容について確認がされ、承認となった。
- ④ 事務局より、説明同意文書に関する当法人の運用について連絡があった。

## 6. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2018年10月16日 18:00～ (2号館2階 メディアルーム)にて開催。